

別紙1 洗浄液、回収液の必要量

所定量の特級エタノールを加えた洗浄液、および回収液の必要量

下表を参考に、ご使用のキット、および抽出するサンプル数に応じて、所定量の特級エタノールを加えた洗浄液、回収液の必要量をご準備ください。

DNA全血、DNA組織、RNA血液、RNA組織、RNA培養細胞HC、プラスミド

カートリッジ数	所定量の特級エタノールを加えた洗浄液	回収液	用意する未使用の遠沈管
8	26 ml	9 ml	洗浄液用: 50ml 回収液用: 15ml
16	44 ml	11 ml	
24	62 ml	13 ml	洗浄液用: 175ml 回収液用: 50ml
32	80 ml	15 ml	
40	99 ml	17 ml	
48	117 ml	19 ml	
56	135 ml	21 ml	
64	154 ml	22 ml	
72	172 ml	24 ml	

RNA培養細胞

カートリッジ数	所定量の特級エタノールを加えた洗浄液	回収液	用意する未使用の遠沈管
8	20 ml	9 ml	洗浄液用: 50ml 回収液用: 15ml
16	32 ml	11 ml	
24	44 ml	13 ml	洗浄液用: 175ml 回収液用: 50ml
32	56 ml	15 ml	
40	69 ml	17 ml	
48	81 ml	19 ml	
56	93 ml	21 ml	
64	106 ml	22 ml	
72	118 ml	24 ml	

上表の液量は次のように計算しています。

$$\text{液量} = (\text{抽出に使用する液量A}) \times (\text{カートリッジ数}) + (\text{ディスチャージ等B})$$

$$\text{洗浄液: } A=2.25\text{ml}^* \quad B=8\text{ml}$$

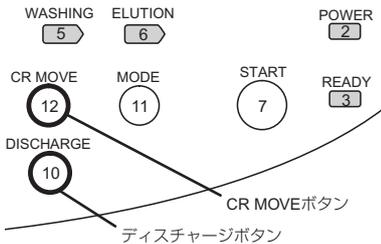
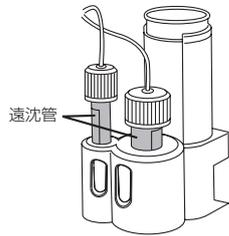
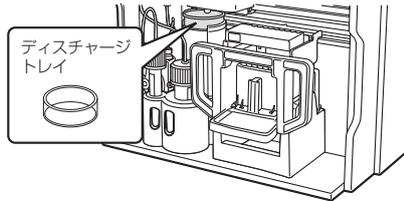
$$\text{回収液: } A=200\mu\text{l} \quad B=7.4\text{ml}$$

* RNA培養細胞キットでは1.5mlです。

別紙2 ディスチャージ

キット変更時のディスチャージ / 1週間以上使わない場合

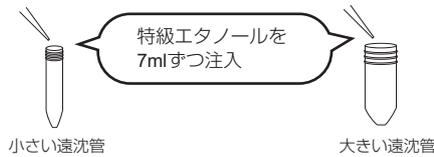
- ▶ キット変更時のディスチャージの場合
 - ・ DNAキットからDNAキットへ変更の場合 → 1~2, 9へ
 - ・ RNAキットからRNAキットへ変更の場合 → 1~2, 9へ
 - ・ DNAキットからRNAキットへ変更の場合 → 1~9へ
 - ・ RNAキットからDNAキットへ変更の場合 → 1~9へ
- ▶ 1週間以上使わない場合 → 1~5へ



1 ディスチャージトレイが空であることを確認します。
 廃液が入っている場合は捨ててください。

2 遠沈管を新しい（空の）ものに交換し、フロントカバーを閉じ、オペレーションパネルの〔DISCHARGE〕ボタンを押します。
 遠沈管交換時にチューブをコンタミさせないようにご注意ください。

3 新しい遠沈管に特級エタノール（>99%）を7mlずつ注入し、フロントカバーを開け、チューブを交換します。



4 フロントカバーを閉じ、オペレーションパネルの〔DISCHARGE〕ボタンを押します。

5 数十秒で終了後、再度〔DISCHARGE〕ボタンを押す作業を繰り返し、合計で4回のディスチャージを行います。（配管内をエタノールが通った後完全に排出され、配管内が空になります）

1週間以上使わない場合のディスチャージ

ディスチャージトレイの廃液を捨て※、セットした後、フロントカバーを閉めます。電源を落とします。作業終了です。次に使用する際は、6~9の操作を行ってください。

※ CR MOVEボタンを押すと廃液が捨てやすくなります。

6 新しい遠沈管にDNase / RNase free水を7mlずつ注入し、フロントカバーを開け、3のチューブと交換します。



7 フロントカバーを閉じ、オペレーションパネルの〔DISCHARGE〕ボタンを押します。

8 数十秒で終了後、再度〔DISCHARGE〕ボタンを押す作業を繰り返し、合計で4回のディスチャージを行います。（配管内を水が通った後完全に排出され、配管内が空になります）

9 **キット変更時のディスチャージ**
 続けて、次のキットの洗浄液と回収液を新しい遠沈管に注入し、セットします。